

発日議第 347 号
令和 8 年 3 月 26 日

日向市長 西村 賢 様

日向市議会議長 日高 和広

令和 7 年度「高校生と市議会議員との意見交換会」について（報告）

市議会では、高校生との対話を通じて、次世代を担う若者に魅力的なまちづくりや地方自治制度に関心を抱いてもらうとともに、そこで得られた意見を議会活動に生かすことを目的として、標記の意見交換会を開催しました。

当日は、高校生からの本市のまちづくりに関する提案やアイデアが出され、参加者から「とても貴重で充実した時間だった」旨の高い評価を得ており、主権者教育としても確かな効果を実感したところです。

つきましては、別紙のとおり高校生から出された意見を取りまとめましたので御報告申し上げます。様々な視点からの意見が寄せられており、中には実現が難しいものもありますが、高校生の率直な声を市政に届けることが重要であると考えておりますので、若者の貴重な声として真摯に受け止められ、各種施策推進上の参考にさせていただきますようお願いいたします。

（文書取扱 議会事務局）

高校生から出された主な意見

【日向工業高校】

※関係常任委員会を表示…**総**総務政策環境、**文**文教福祉、**産**産業建設水道

テーマ	現状や課題など	解決策・提案
1 日向市の自転車利用者の未来	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の交通ルールを体系的に学ぶ機会が不足している。 ・自転車が通行する路側帯が狭く、区画線（白線）が消えかかっている箇所が存在する。 ・自転車用ヘルメット購入に対する補助制度が十分とは言えない。 	<p>産市道については市建設担当部署へ、県道・国道については土木事務所へ情報提供を行えるよう、区長や地区選出議員等を通じた連絡体制を周知する。</p> <p>総産アプリ等を活用し、危険箇所の写真や位置情報を通報できる仕組みを活用する。</p> <p>産自転車用ヘルメット購入に対する補助制度の創設を検討する。</p> <p>産生徒や保護者等も含め、市に対する要望活動を行い、制度創設の機運を高める。</p>
2 高校生が主役のイベントと新しい図書館に求める機能と在り方	<p>○ 高校生が主役のイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外へ進学する生徒が増えており、現在実施されているイベントだけでは、市内高校の魅力が十分に伝わっていない。 ・学校間交流の機会が少ない。 ・イベントに参加したいという意欲があっても、情報が届きにくいことや、参加費等の経済的負担への不安がある。 <p>○ 新しい図書館に求める機能と在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館は静かな空間という印象が強く、会話や学び合いを行うことに心理的なハードルがある。 	<p>○ 高校生が主役のイベント</p> <p>総高校魅力化向上事業等を活用し、誰でも参加しやすいイベントを開催する。</p> <p>総日向市公式LINE等を活用し、イベント情報を確実に届ける仕組みを強化する。</p> <p>○ 新しい図書館に求める機能と在り方</p> <p>総文交流や学び合いができるフリースペースを設置する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や交流ができるスペースが不足しており、世代を超えて集まれる場が少ない。 	<p>総文「日向ラボ・ラボ」等の場に高校生が参加し、図書館づくりに若者の意見を反映させる。</p> <p>総文ハロウィンやクリスマス等、子どもや若者が参加しやすいイベントを実施する。</p>
--	--	---

【富島高校（全日制）】

テーマ	現状と課題	解決策・提案
1 日向市の活性化～“サーフィン”で盛り上げる～	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進行している。 ・市内在住の学生の中で、サーフィン経験者が少ない。 ・サーフィン教室の受講料が高額であり、参加のハードルとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 産サーフィン教室への市民割引制度の導入。 産定期的な無料サーフィン体験教室の実施。 産文学校行事へのサーフィン体験の導入。 産文学校におけるサーフィンクラブの設置。
2 日向市の活性化～“自然”で盛り上げる～	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場やコテージなどの滞在型アウトドア施設が不足している。 ・火気使用が制限されている施設が多く、アウトドア利用の幅が限定されている。 ・キャンプ場が存在しても、監視員や管理体制が十分とは言えず、安全面・管理面に課題がある。 ・日向市産木材の活用が十分に進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 産海岸近接エリアにキャンプ場やコテージを新設し、適切な安全管理のもと火気使用が可能な環境を整備する。 産浜辺や周辺施設を活用し、部活動の合宿や教育活動等でも利用できる施設設計とする。 産企業誘致を進め、関連産業の集積とアルバイト等の就業機会の創出につなげる。

<p>3 日向市の人口流出を減らしたい！！～カナダの移民政策を模範とした地域活性化について～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日向市は製造関連企業が多い一方で、IT 分野など若者が希望する就業分野の選択肢が限られており、結果として雇用の幅が狭くなっている。その影響として、市内就職者が少なく、人口減少の一因となっている。 ・新規事業に対する支援制度は一定程度整備されているが、既存企業の成長や事業拡大を後押しする施策は十分とは言えない。 ・外国人労働者の受け入れは増加しているが、言語や文化の違いによるトラブルやコミュニケーション課題が生じており、適応支援体制の強化が求められている。 ・若者の多くが県外大学や都市部へ進学・就職し、その後、地元へ戻る割合が低い状況が続いている。 	<p>産 既存企業の成長を支援するため、設備投資や事業拡大に係る経費の一部を軽減・支援する制度を導入する。</p> <p>総産 外国人労働者に対する日本語教育や生活・文化適応支援を、公的支援体制のもとで実施し、企業の受け入れ負担を軽減する。</p> <p>総産 公的支援を受ける企業に対しては、外国人労働者の適応支援への取り組みを条件とし、企業と労働者双方が安心して働ける環境づくりを促進する。</p> <p>総産 IT 関連企業等、若者が希望する分野の企業誘致や起業支援を強化し、雇用の多様化を図る。</p> <p>総産 若者のUターン・定住を促進するため、居住環境整備や地域交流機会の創出を進める。市や警察との連携又は生徒同士の呼びかけ、推進のためのアピールや広報活動の活発化。</p>
--	--	--

【富島高校（定時制）】

テーマ	現状と課題	解決策・提案
<p>1 教育について～不登校の子どもたちが再挑戦しやすい環境づくり～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の頃から小さなストレスが少しずつ蓄積し、限界に達してしまった。 ・周囲に気を遣い過ぎたことでストレスがたまり、体調不良を引き起こした。 ・友人関係のトラブルにより、精神的に大きな負担 	<p>文 フリースクール（相談の場）など、通いやすい場の設置・創出。</p> <p>総文 安心できる居場所の確保。</p> <p>文 多種多様な学びの機会と社会とのつながりの確保。</p>

	<p>を抱えるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者に相談しても十分に受け止めてもらえず、孤立感やつらさが増した。 ・教員に対する恐怖感があり、安心して学校生活を送ることができなかった。 	
2 教育について～不登校をなくすためには～	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや人間関係の不安、勉強のペースやクラスの雰囲気合わないことなど、学校環境が原因で不登校になる生徒がいる。 ・不登校の生徒が安心して過ごせる居場所や、通学以外の学びの場が十分に確保されていない。 ・カウンセラー等の相談体制が不足しており、生徒が気軽に相談しづらい。また、「話を聞くだけで何も変わらない」と感じる生徒もいる。 ・授業の進度が速く、学習についていけないことが不登校の一因となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文 第二、第三の居場所づくり。 文 オンライン授業の充実。 文 学校で動物を飼育する。 文 校内フリースペースの充実。
3 日向市の生活・福祉について（グリーンパーク、生活・福祉、日向市の福祉生活）	<p>○グリーンパークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の遊び場が少なく、遊具がない。 ・グリーンパークに人が集まらない。 ・広い芝生広場を生かし、自然を楽しむ公園となっている。 <p>○生活・福祉について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の予算が少なく、学校行事を中心に教育活動に支障が生じている。 	<p>○グリーンパークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 産 整備計画の見直し、遊具の設置を検討する。 文産 保育園等による利用を進める。 総文産 イベントを開催する。 <p>○生活・福祉について</p> <ul style="list-style-type: none"> 総文産 学校の予算を増やすため、行政による支援が必要である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・年金支給が2ヶ月に1回で生活が苦しく、現在の年金額では生活ができない。 <p>○日向市の福祉生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費は中学生まで無料である。 ・カラスによるごみ問題、不法投棄の問題がある。 	<p>○日向市の福祉生活について</p> <p>文他の自治体で高校生まで医療費を無料としている事例を参考に、同様の制度を導入する。</p> <p>総カラス対策の「目玉模様のデザイン」などを設置する。</p> <p>総箱型のごみ容器を設置する。</p>
<p>4 自然環境の現状と課題について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸漂流物やごみの不法投棄への対策。 ・河川改修事業等による治水対策。 	<p>総文産公共施設へのごみ箱の設置。</p> <p>産ビーチクリーンを定期的を実施する。</p> <p>総文産マイクロプラスチックの問題の解決策として、出さない(発生源を減らす)、流さない(排出を防ぐ)、回収する(ごみ削減)、代替(素材転換・循環設計)、産学官の連携、環境教育の推進、日向市版マイクロプラスチック対策提案書(行動計画)の作成などに取り組む。</p>
<p>5 日向市の雇用・労働について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の質と地域での生活の魅力が複合的に影響し、若者や女性の流出を招いている。 	<p>総産「仕事」と「地域そのものの魅力」を一体として向上させる。</p> <p>産日向市独自の地域ブランドを構築する(サーフ&ワークシティなど)。</p> <p>産市の特産品や観光資源を活用して新しい職種を増やす。</p> <p>総就活応援補助金を特定の業種(IT、医療、観光など)</p>

		<p>において上乗せする。</p> <p>産 農業、観光業、福祉などの分野で短期・柔軟な働き方ができる仕事を増やす。</p> <p>総産 「日向市働きがい認定企業制度（仮称）」を創設し、基準をクリアした企業を積極的に広報する。</p> <p>総 行政手続のオンライン化やAI チャットボットを導入する。</p> <p>総 UIJ ターン希望者に対し、住宅補助とキャリアアップ研修をパッケージにしたプログラムを創設する。（医療・介護・IT の分野に特化。）</p>
--	--	---

【日向高校】

テーマ	現状と課題	解決策・提案
1 災害対策（地震・津波）～言葉・文化の壁を越えて安全を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震の発生確率が高まっている。 ・避難タワーの数や設備の見直しが必要である。 ・海外の方への対応（ハザードマップ等）が十分でない。 	<p>総 タワーに避難した際、そこで留まる必要がある場合に備え、食料等を備蓄する。</p> <p>総 一次・二次避難に関する情報を事前に市民へ通知し、マニュアルとして周知する。</p> <p>総 多言語対応のハザードマップや行動マニュアルについて、地域への説明会や避難訓練を実施する。 →海外の方との言語や心の壁をどのように乗り越えるかが課題。</p>

		<p>総産 ホテル・旅館等においても多言語表示を進める。</p> <p>総 避難所で自分の物資を共有できるような仕組みが必要。</p> <p>総 避難タワーに屋根を設置する。</p> <p>総 簡易トイレの整備が必要。</p> <p>総 防災情報の認知・周知のあり方を工夫する必要がある。</p>
2 18歳以下を対象とした医療制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生の医療費が高い。 ・ 経済的理由により、病院に行きづらい。 ・ お金がかかるため、体調不良を親に言い出しにくい場合がある。 	<p>文 15～39歳のAYA世帯は慢性疾患や重篤な病気の発生率が低く、受診回数も少ないため、医療費無償化に要する財政負担は小さいと考えられる。若年期の受診控えを防ぐことで、将来的な重症化や医療費増加を抑える効果が期待できるため、無償化は妥当である。</p> <p>総文産 医療費を支えるため、税金の使い道を見直し、無駄を減らして必要な財源を確保する。</p>
3 若者よ！日向にUターン！計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元にはどのような企業があるのか知らないままに大人になっている。 ・ 自分に適した仕事に分からないまま大人になっている。 	<p>文産 キャリア教育を充実させる。</p> <p>⇒ 企業から小中学生向けのパンフレットを作成してもらい、配布・配信・発信する。</p> <p>産 市のホームページに職業診断機能を設け、自分に合う職業診断ができるようにし、診断結果に応じた雇用先の紹介を行う。</p>

【日向ひまわり支援学校】

テーマ	意見・要望
1 日向市の魅力とこれからのまちづくりについて	<p>総文産 日向市に若者がもっと楽しめる場所があると良い</p> <p>産 バスの運行本数やルートを増やしてほしい。</p> <p>文 医療的ケアが必要な生徒が活用できる事業所が市内に1か所しかなく、生活介護やA型の事業所が増えてほしい。</p>
2 日向市を魅力あるまちにするための意見について	<p>産 日向にある大型施設を、お店の数などを増やすなどして、もっと大きくしてほしい。</p> <p>産 ブランコがたくさんある大きな公園がほしい。</p> <p>産 車いすのままで利用できる公共バスがほしい。</p>
2 福祉事業所での実習体験と課題について	<p>文 就労継続支援A型事業所が増えると進路選択の幅が広がる。</p> <p>文 卒業後、働きたい就労継続支援B型事業所があったが、空きがなく、別の事業所へ行くこととなった。日向市内にも空きがない事業所がある。</p>

令和7年度 高校生と市議会議員との意見交換会 報告書



令和8年(2026)年3月



目 次

1. 開催経過	1
2. 実施要領（議会）、実施概要（学校）	2
3. 実施報告書	5
4. アンケート結果	23
5. 写真、新聞記事	35

開催経過

- ① **日向工業高校** …令和7(2025)年11月6日(木) 9時30分～11時10分
※対応：2班…黒木克彦[班長]、河野ひとみ[副班長]、黒木雅由[全体記録者]
松葉進一、帆足武男、黒木高広、成合進也、近藤勝久、畝原幸裕
- **発表・意見交換の内容** ※出席生徒数：10名
・ A班…日向市の自転車利用者の未来
・ B班…高校生が主役のイベントと新しい図書館に求める機能と在り方
- ② **富島高校[全日制]** …令和7(2025)年11月6日(木) 15時00分～16時40分
※対応：2班…黒木克彦[班長]、河野ひとみ[副班長]、黒木雅由[全体記録者]
松葉進一、帆足武男、黒木高広、成合進也、近藤勝久、畝原幸裕
- **発表・意見交換の内容** ※出席生徒数：11名
・ A班…日向市の活性化～“サーフィン”で盛り上げる～
・ B班…日向市の活性化～“自然”で盛り上げる～
・ C班…日向市の人口流出を減らしたい！！
～カナダの移民政策を模範とした地域活性化について～
- ③ **富島高校[定時制]** …令和7(2025)年11月7日(金) 18時00分～19時40分
※対応：1班…柏田公和[班長]、壺岐紘明[副班長]、三輪邦彦[全体記録者]
黒木 正、三樹喜久代、小林隆洋、高橋由美、黒木英和、友石司、黒木健二
- **発表・意見交換の内容** ※出席生徒数：29名
・ 1年生…日向市の教育について
・ 2年生…日向市の生活・福祉について
・ 3年生…日向市の自然・環境について
・ 4年生…日向市の雇用・労働について
- ④ **日向高校** …令和7(2025)年11月18日(火) 15時00分～16時40分
※対応：1班…柏田公和[班長]、壺岐紘明[副班長]、三輪邦彦[全体記録者]
黒木 正、三樹喜久代、小林隆洋、高橋由美、黒木英和、友石司、黒木健二
- **発表・意見交換の内容** ※出席生徒数：10名
・ A班…災害対策(地震・津波)～言葉・文化の壁を越えて安全を守る～
・ B班…18歳以下を対象とした医療制度
・ C班…若者よ！日向にUターン！計画
- ⑤ **日向ひまわり支援学校** …令和8(2026)年1月21日(水) 10時00分～11時30分
※対応：希望者…日高和広、黒木克彦、柏田公和、河野ひとみ、壺岐紘明、黒木雅由、
三輪邦彦、帆足武男、黒木正、高橋由美
- **発表・意見交換の内容** ※出席生徒数：22名
・ 1年生…日向市の魅力とこれからのまちづくりについて
・ 2年生…日向市を魅力あるまちにするための意見について
・ 3年生…福祉事業所での実習体験と課題について

令和7年度 高校生と市議会議員との意見交換会 実施要領

1. 目的

市内の高校生と議員が意見交換を行うことで、これからのまちづくりの担い手である高校生に、若者が住みたくなるような魅力的なまちづくりや、それを実現するための地方自治の制度に対して関心を持ってもらうとともに、そこで得られた意見を議会における政策立案及び政策提言につなげることを目的とする。

2. 実施時期

原則、11月から12月（年1回）とする。

3. 実施の手続き

議長から各高校に文書で要請する。

※事前に議会事務局が各学校を訪問のうえ、開催の趣旨説明と学校側の意向を確認

4. 実施会場

議場、学校、その他

5. 議員の発言

意見交換会における議員の発言は、原則として議会決定事項を中心とするが、議員個人の見解についても良識をもって述べることは可。

6. 意見交換内容

各校において、事前にそれぞれのテーマに基づき検討した内容を当日発表。

その発表内容に基づき意見交換を実施。 ※約2週間前を目途に、発表内容をお知らせいただく。

7. 班の編成及び構成等

(1) 班は2班編成とし、1班あたり10名と9名で構成する。

(2) 議長は班には属さないが、可能な限り各回に出席する。

(3) 構成議員は、所属委員会等を勘案し、全体会で決定する。

(4) 各班に、班長、副班長、記録者[全体記録担当者]を置く。

併せて、意見交換会では、各班ごとに、進行役、記録者[班別記録担当] を置く。

それぞれの役割分担は、班員の互選により決定する。

(5) 班長、副班長、記録[全体記録担当者]は、調整会議に出席するものとする。

(6) 答弁については全員で対応する。

8. 調整会議

班長及び副班長並びに記録[全体記録担当者]で構成する調整会議を設置し、会長、副会長を置き、以下の点を協議する。

(1) 意見交換会の内容と進め方について

(2) 意見交換会に必要な資料の作成について

(3) 意見交換会後の連絡調整

(4) その他各班で統一を図るべき事項について

9. 役割分担

(1) 班長…意見交換会全体を統括する。さらに、班の連絡会議を主宰する。

(2) 副班長…班長を補佐する。

(3) 記録者[全体記録担当者]…意見交換会の要点を記録し、報告書を作成する。

※意見交換会における役割分担（各班ごとに配置）

(4) 進行役…意見交換会の進行を行う。

(5) 記録者[班別記録担当]…各班における意見交換会で出された質疑・意見の要点を記録する。

(6) 全員 …会場の設営・資料等の準備、後片付け。また、班別会議を行う。

10. 会場での配布資料

・資料は、調整会議において確認し、作成する。

・生徒には、会次第、座席配置図、市議会の概要の資料を配付する。

・議員の資料は、タブレットによりデータで閲覧する。

11. 会次第

意見交換会は概ね 100 分程度とし、会次第は次のとおりとする。

- (1) 開会あいさつ・・・・・・・・・班長
- (2) 自己紹介（議員・高校生）・・・議員、高校生
- (3) 発表・・・・・・・・・高校生が選んだテーマについて、班ごとに発表
- (4) 意見交換（班ごと）・・・・・・発表内容について、議員が各班に入った形での意見交換。
- (5) 意見交換の内容発表・・・・・・班ごとの意見交換で出された質疑・意見等の発表。
- (6) 閉会あいさつ・・・・・・副班長

12. 結果報告等

- (1) 記録者は、要点筆記をもとに、統一の様式により報告書を作成する。要点筆記したものは、報告書に添付する。
- (2) 報告書は班全員で確認し、議長へ報告するものとする。
- (3) 意見交換で出された意見・要望の取り扱い
市政に対する要望・意見等で、後日回答が必要な項目については、全体会・調整会議を開催し、議会全体としてまとめ、議長名で市長へ文書により報告しその対応を求める。
市長からの返答については、各学校長へ文書で通知する。
上記対応以外の要望・意見等は、全体会議・調整会議で協議のうえ、下記の対応を行う。
 - ①市長部局へ情報提供する
 - ②各議員の議員活動に生かしていく。
 - ③関連する委員会で検討する。
 - ④市長への政策提言を行う。
- (4) 議会活動に対する要望・意見等については、各班において処理し、調整会議で整理する。
- (5) 報告書についてはHPに掲載するほか、概要を議会だより等で公表する。

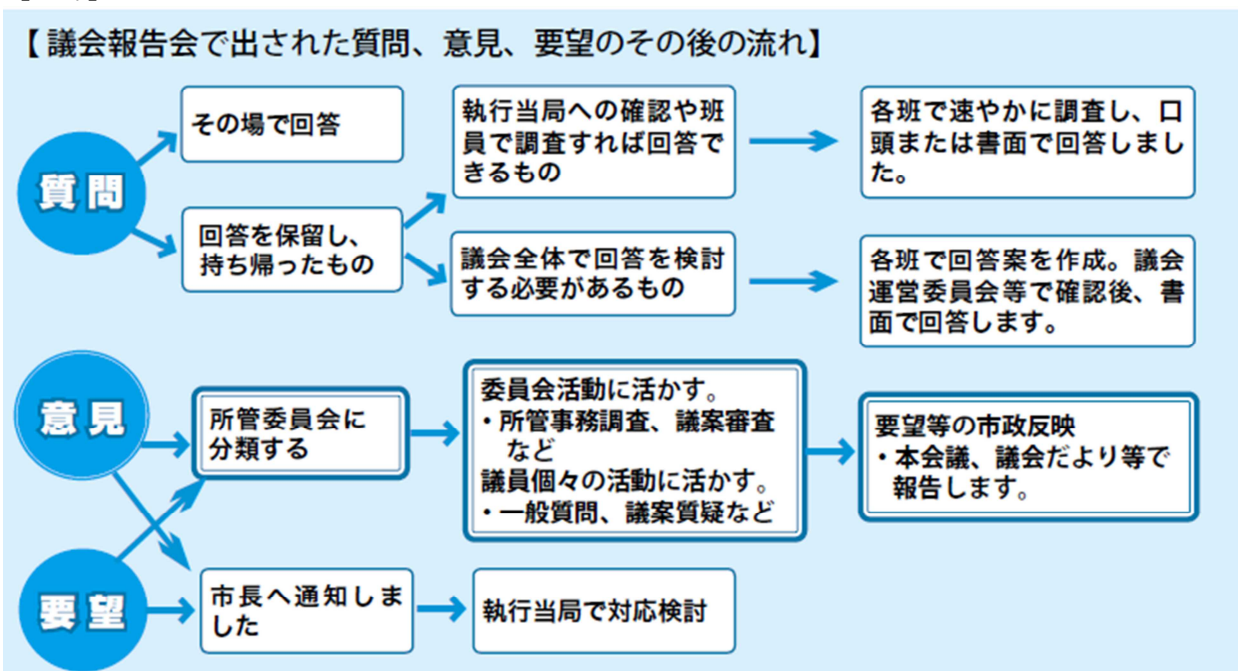
13. 開催案内

意見交換会の開催や内容は、議会だよりや議会ホームページに掲載する。また、記者室に情報提供を行うとともに、議員が積極的な周知活動に努める。

14. 留意事項

- (1) 多くの参加者が発言できるような運営に配慮する。
- (2) 議員の発言は、特定の議員に偏らないように良識を持って対応する。
- (3) 高校生からの意見に重点を置くよう配慮する。
- (4) 質疑についてはその場で回答する。保留した答弁は、各班の責任において速やかに対応する。

[参考]



高校生と市議会議員との意見交換会 実施概要

項 目	実 施 内 容
メインテーマ	「あなたが描く ふるさとの未来は」
1 目 的	<p>全国的に人口減少、少子高齢化が進み、地方では、地域づくりや地域経済の中心的存在である若い世代の人口が増加につなげていない現状がある。</p> <p>これからの日向市や近隣町村などの各市町村のまちづくりに欠かすことのできない高校生の意見や、新たな視点、考え方をお聴きすることで、若者が住みたくなる「まち（日向市や近隣町村など）」の実現に向けて、参加した高校生と市議会議員との意見交換を行う。</p> <p>意見交換会で出された意見は、必要に応じて議会における政策立案及び政策提言につなげていく。</p>
2 実施方式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生が考える「まちづくり」について、各学校で事前に選んだテーマをもとに意見をまとめたうえで当日発表。高校生が考えている、日向市や近隣町村等における、足りない部分や欠けていること、不足している支援等の在り方などを問題提起してもらう。 （※事前〔約2週間前迄〕に、発表内容を議会事務局にお知らせいただく） ・ 発表終了後、参加者（高校生及び議員）が各班ごとにそのテーマについての意見交換を行う。 ・ 各班における意見交換後、その内容を全体の場で各班の高校生が報告し、全員で共有する。
3 会 場	議場、学校、その他
4 対 象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富島高校（全日制、定時制） ・ 日向高校 ・ 日向工業高校 ・ 日向ひまわり支援学校 <p>※生徒の人数は学校側の希望により対応</p>
5 主 催	日向市議会
6 開催時期	・ 学校からの開催希望日を受けて決定
7 内 容	<p>▼「高校生が考える、ふるさとの^{いま}と^{あした}未来」について発表・意見交換</p> <p>[各学校での事前準備]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校で、それぞれのふるさと（日向市や近隣町村）の^{いま}現在（現状）と^{あした}未来（将来こうあってほしいと願うふるさとの姿）についてブレインストーミング等を実施し、具体的なサブテーマを決める。 ・ 出された意見を整理して、高校生が考える「まちづくり」についてまとめる。 ・ まとめた内容をもとに、発表用資料を作成。 <p>[意見交換当日]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見交換会当日、高校生が各班ごとに発表。 ・ 発表後、各班の発表内容について高校生と議員とでグループ討議形式で意見交換。 ・ 各班ごとの意見交換終了後、各班から出された意見を高校生が発表し全員で共有する。 <p>▼「参加した高校生に、議会の仕組みを理解してもらう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生に市議会の概要説明資料を配付し、議会の仕組みを理解してもらう。

高校生と市議会議員との意見交換会 実施報告書（日向工業高校）

開催日時	令和7年11月6日（木） 9:30 ～ 11:10
開催場所	議場
出席議員	【2班】（班長）黒木克彦（副班長）河野ひとみ（全体記録者）黒木雅由 近藤勝久 成合進也 帆足武男 畝原幸裕 松葉進一 黒木高広
参加生徒数	10名
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会（司会：議会事務局） 2. あいさつ（班長：黒木克彦議員） 3. 自己紹介（議員・生徒） 4. 発表（A班、B班） 5. 意見交換 6. 閉会の言葉（副班長：河野ひとみ議員） 7. 閉会
意見交換の内容等	<p>1. 高校生からの発表</p> <p>●発表A「日向市の自転車利用者の未来」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車の交通ルール遵守を促進し、安全で規律あるまちづくりを目指す提案が示された。特に、自転車に関する青切符制度の導入を踏まえ、利用者一人ひとりがルールを守る意識の醸成が重要であるとの認識が示された。 ・自転車教習所の設置や学校授業への交通ルール教育の導入、講習会の実施などにより、ルールを学ぶ機会を拡充する必要性が提案された。 ・ハード面の整備として、通行指定部分の設置や、狭小区間・白線が見えにくい箇所の明確化など、路側帯の拡張や区画線整備の必要性も示された。 ・安全対策として、自転車用ヘルメット購入に対する補助制度の創設が提案された。 <p>●発表B「高校生が主役イベントと新しい図書館に求める機能と在り方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目的 <ul style="list-style-type: none"> ・日向市の活性化 ・世代を超えた交流の創出 ・誰もが集える居場所づくり ・市内高校の魅力向上と人材確保 ○ テーマ設定の背景 <ul style="list-style-type: none"> ・日向地区の3高校それぞれの魅力を、イベント等を通じて広く発信したいという思いが示された。 ・新図書館の機能や在り方については、早期に方向性を検討する必要があるとの認識が示された。 ○ 提案内容 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生主体の清掃活動や学校体験イベントの実施 ・新図書館に以下の機能を持たせること ・自由に滞在できるフリースペース ・利用者サービス向上のための専用アプリ ・地域交流・イベント開催機能 <p>2. 班別意見交換</p> <p>●A班「日向市の自転車利用者の未来」</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現在の課題（現状） <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年4月1日から自転車の交通違反に対する罰則（反則金制度）が導入されることを踏まえ、課題を次の3点に整理した。 1. 自転車の交通ルールを体系的に学ぶ機会が不足している。 2. 自転車が通行する路側帯が狭く、区画線（白線）が消えかかっている箇所が存在する。

3. 自転車用ヘルメット購入に対する補助制度が十分とは言えない。

② 理想的な未来（目指す姿）

- ・日向市において、自転車利用者が交通ルールを理解し遵守することで、安全に自転車を利用できる環境が整い、規律と安心のあるまちづくりが実現している状態を目指す。

③ 解決策（具体的提案）

(1) 自転車ルールを学ぶ機会の不足への対応

- ・高校等から警察へ依頼し、交通安全講習会を実施する。
- ・一般市民向けに、ポスター掲示や回覧板等による周知を行う。
- ・利用者一人ひとりが交通ルールを守り、周囲の模範となる意識を醸成する。

(2) 路側帯の安全性向上

- ・市道については市建設担当部署へ、県道・国道については土木事務所へ情報提供を行えるよう、区長や地区選出議員等を通じた連絡体制を周知する。
- ・アプリ等を活用し、危険箇所の写真や位置情報を通報できる仕組みを活用する。

(3) ヘルメット着用促進への対応

- ・自転車用ヘルメット購入に対する補助制度の創設を検討する。
- ・生徒や保護者等も含め、市に対する要望活動を行い、制度創設の機運を高める。

④ その他の意見

- ・ヘルメット補助制度の対象条件として、次のような基準を設けることが望ましいとの意見があった。① 16歳以上② SGマーク等の安全基準適合製品③ 日向市在住者

●B班「高校生が主役のイベントと新しい図書館に求める機能と在り方」

① 現在の課題（現状）

○ 高校生が主役のイベント

- ・市外へ進学する生徒が増えており、現在実施されているイベントだけでは、市内高校の魅力が十分に伝わっていない。
- ・学校間交流の機会が少ない。
- ・イベントに参加したいという意欲があっても、情報が届きにくいことや、参加費等の経済的負担への不安がある。

○ 新しい図書館に求める機能と在り方

- ・図書館は静かな空間という印象が強く、会話や学び合いを行うことに心理的なハードルがある。
- ・会話や交流ができるスペースが不足しており、世代を超えて集まれる場が少ない。

② 理想的な未来（目指す姿）

○ 高校生が主役のイベント

- ・高校生主体のイベントにより地域の活性化が進んでいる。
- ・イベントを通じて高校や地域の魅力を実感し、将来的に日向市に残る、または戻ってくる若者が増えている。

○ 新しい図書館に求める機能と在り方

- ・図書館等にフリースペースが整備され、年齢に関係なく集まり、交流できる場となっている。
- ・多世代が自然に交流できる地域拠点となっている。

③ 解決策（具体的提案）

○ 高校生が主役のイベント

- ・市内3校が合同で、清掃活動や学校体験などのイベントを実施する。
- ・高校魅力化向上事業等を活用し、誰でも参加しやすいイベントを開催する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・日向市公式 LINE 等を活用し、イベント情報を確実に届ける仕組みを強化する。 ○ 新しい図書館に求める機能と在り方 <ul style="list-style-type: none"> ・交流や学び合いができるフリースペースを設置する。 ・「日向ラボ・ラボ」等の場に高校生が参加し、図書館づくりに若者の意見を反映させる。 ・ハロウィンやクリスマス等、子どもや若者が参加しやすいイベントを実施する。 ④ その他の意見 <ul style="list-style-type: none"> ・各校の生徒会が連携できる仕組みづくりが必要である。
<p style="text-align: center;">その他 特記事項</p>	<p>要返答事項 無し</p>

令和 8年 2月 20日
日向市議会議長 日高和広 様

第 2 班 班長 黒木 克彦

高校生と市議会議員との意見交換会 実施報告書（富島高校全日制）

開催日時	令和7年11月6日（木）15：00～16：30
開催場所	議場
出席議員	【2班】（班長）黒木克彦（副班長）河野ひとみ（全体記録者）黒木雅由 成合進也 黒木高広 松葉進一 帆足武男 畝原幸裕 近藤勝久
参加生徒数	11名
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会（司会：議会事務局） 2. あいさつ（班長：黒木克彦議員） 3. 自己紹介（議員・生徒） 4. 発表（A班、B班、C班） 5. 意見交換 6. 閉会の言葉（副班長：河野ひとみ議員） 7. 閉会
意見交換の内容等	<p>1. 高校生からの発表</p> <p>●発表A「日向市の活性化～“サーフィン”で盛り上げる～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーフィンを活用し、日向市の地域活性化を図りたいという提案があった。 ・富島高校生を対象にアンケートを実施した結果、サーフィン経験者は約8%程度と少なく、裾野拡大の余地があることが示された。 ・サーフィンスクールの利用料金が高く、気軽に始めにくい点が挙げられ、市民割引制度の導入や、人工波を活用したサーフィン施設の整備が提案された。 ・日向の海はサーフィンに適した高いポテンシャルを有しており、サーフィンを通じて地域の魅力を高めることで、若者や市民の定着につながる可能性があるとの意見が示された。 <p>●発表B「日向市の活性化～“自然”で盛り上げる～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日向市は自然資源に恵まれている一方で、観光スポット周辺の宿泊施設が不足しているとの課題認識が示された。 ・その解決策として、自然を活用したキャンプ場やコテージの整備が提案された。 ・伊勢ヶ浜や米ノ山周辺など、観光資源と近接したエリアへの整備が有効とされ、キャンプ用品店や飲食店などの関連企業誘致への波及効果も期待されるとの意見があった。 ・コテージ周辺へのサウナ設置による付加価値向上、整備時に発生する木材の再利用による環境配慮（SDGsへの貢献）など、多面的な地域活性化策も提案された。 ・観光地巡りとサーフィンを同時に楽しめる点をSNSで発信することで、観光客増加につなげる必要性が示された。 <p>●発表C「日向市の人口流出を減らしたい！！～カナダの移民政策を模範とした地域活性化について～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日向市では就業分野の選択肢が限られていることが人口減少の一因となっているとの認識が示され、企業誘致や新規事業創出による雇用創出の必要性が提案された。 ・具体策として、企業が新規事業や事業拡大に取り組む際、経費の一部を市が支援する制度の創設が提案された。 ・人手不足対策として外国人材を受け入れる場合、文化・言語の違いによるトラブルを防ぐため、地域適応支援を企業に求める仕組みの必要性が示された。 ・外国人材の受け入れや適応支援に取り組む企業に対しては、公的支援の対象拡大や支援内容の充実を図ることで、企業活動の活性化と地域の多様性向上を目指す方向性が示された。

2. 班別意見交換

●A班「日向市の活性化～“サーフィン”で盛り上げる～」

① 現在の課題（現状認識）

- ・人口減少が進行している。
- ・市内在住の学生の中で、サーフィン経験者が少ない。
- ・サーフィン教室の受講料が高額であり、参加のハードルとなっている。

② 理想的な未来（目指す姿）

- ・日向の海は、全国的に見てもサーフィンに適した高いポテンシャルを有している。
- ・この地域資源を生かし、サーフィンを愛する若者や市民が市外に流出することなく、市内で就業機会を得ながら生活し、日向市に定着する人が増えている状態を目指す。

③ 解決策（具体的提案）

- ・サーフィン教室への市民割引制度の導入
- ・定期的な無料サーフィン体験教室の実施
- ・学校行事へのサーフィン体験の導入
- ・学校におけるサーフィンプラブの設置

④ その他の意見

- ・人工波を活用したサーフィン施設の整備可能性について検討すべきとの意見があった。

●B班「日向市の活性化～“自然”で盛り上げる～」

① 現在の課題（現状）

- ・キャンプ場やコテージなどの滞在型アウトドア施設が不足している。
- ・火気使用が制限されている施設が多く、アウトドア利用の幅が限定されている。
- ・キャンプ場が存在しても、監視員や管理体制が十分とは言えず、安全面・管理面に課題がある。
- ・日向市産木材の活用が十分に進んでいない。

② 理想的な未来（目指す姿）

- ・多目的に利用できるアウトドア拠点施設が整備されている。
- ・観光、海水浴、スポーツ、キャンプ、サーフィンなどを組み合わせた滞在型観光が実現し、新たな来訪者を呼び込んでいる。
- ・地元木材を活用したコテージ等が整備され、地域資源の循環利用が進んでいる。
- ・キャンプ用品関連企業等の立地が進み、雇用創出につながっている。

③ 解決策（具体的提案）

- ・海岸近接エリアにキャンプ場やコテージを新設し、適切な安全管理のもと火気使用が可能な環境を整備する。
- ・浜辺や周辺施設を活用し、部活動の合宿や教育活動等でも利用できる施設設計とする。
- ・企業誘致を進め、関連産業の集積とアルバイト等の就業機会の創出につなげる。

④ その他の意見

- ・キャンプ場やコテージは既存施設の改修ではなく、新規整備を前提に検討することが望ましい。
- ・サウナや入浴施設等の付帯機能を整備することで、施設の魅力向上と利用者増加が期待できる。
- ・学生等の若年層にも利用しやすいよう、付帯施設はワンコイン程度で利用できる料金設定が望ましい。

	<p>●C班「日向市の人口流出を減らしたい！！～カナダの移民政策を模範とした地域活性化について～」</p> <p>① 現在の課題（現状）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日向市は製造関連企業が多い一方で、IT分野など若者が希望する就業分野の選択肢が限られており、結果として雇用の幅が狭くなっている。その影響として、市内就職者が少なく、人口減少の一因となっている。 ・新規事業に対する支援制度は一定程度整備されているが、既存企業の成長や事業拡大を後押しする施策は十分とは言えない。 ・外国人労働者の受け入れは増加しているが、言語や文化の違いによるトラブルやコミュニケーション課題が生じており、適応支援体制の強化が求められている。 ・若者の多くが県外大学や都市部へ進学・就職し、その後、地元へ戻る割合が低い状況が続いている。 <p>② 理想的な未来（目指す姿）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT分野をはじめとする多様な産業が立地し、若者が希望する職種を選択できる雇用環境が整っている。 ・企業が持続的に成長できる環境が整備され、市内で安定した雇用が生まれている。 ・外国人労働者と地域住民の相互理解が進み、トラブルの少ない多文化共生社会が形成されている。 ・若者が一度市外へ進学・就職しても、将来的に日向市へ戻り、活躍できる環境が整っている。 <p>③ 解決策（具体的提案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存企業の成長を支援するため、設備投資や事業拡大に係る経費の一部を軽減・支援する制度を導入する。 ・外国人労働者に対する日本語教育や生活・文化適応支援を、公的支援体制のもとで実施し、企業の受け入れ負担を軽減する。 ・公的支援を受ける企業に対しては、外国人労働者の適応支援への取り組みを条件とし、企業と労働者双方が安心して働ける環境づくりを促進する。 ・IT関連企業等、若者が希望する分野の企業誘致や起業支援を強化し、雇用の多様化を図る。 ・若者のUターン・定住を促進するため、居住環境整備や地域交流機会の創出を進める。
<p>その他 特記事項</p>	<p>要返答事項 無し</p>

令和 8年 2月 20日
日向市議会議長 日高和広 様

第 2 班 班長 黒木 克彦

高校生と市議会議員との意見交換会 実施報告書（富島高校定時制）

開催日時	令和7年11月7日（金） 18:00 ～ 19:40
開催場所	議場
出席議員	【1班】（班長）柏田公和、（副班長）壺岐紘明、（全体記録者）三輪邦彦 黒木 正、三樹喜久代、小林隆洋、高橋由美、黒木英和、友石司、黒木健二
参加生徒数	29名
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会（司会：議会事務局） 2. あいさつ（班長：柏田 公和議員） 3. 自己紹介（議員） 4. 発表（A班、B班、C班、D班、E班） 5. 意見交換 6. 閉会の言葉（副班長：壺岐 紘明議員） 7. 閉会
意見交換の内容等	<p>1. 高校生からの発表</p> <p>●発表A班「日向市の教育について～不登校の子どもたちが再挑戦しやすい環境づくり～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の子どもたちが再挑戦しやすい環境づくりをテーマに調査した。 ・現状は、周囲の環境が原因で不登校となり、そのまま学校に戻れなくなっているケースが多い。理想の未来は、周囲の配慮があり、クラスの問題を放置しない環境である。 ・課題解決に向けて、①不登校生専用のフリースクールや相談場所を設置すること、②安心できる場所を確保すること、③多様な学びの機会と社会とのつながりを広げること、の3点を実施するとの提案。 ・不登校生専用の学習場所があれば、無理せず自分を出せるようになり、前向きな気持ちを持ちやすくなるとした。安心できる場所があることで、新たな一歩を踏み出しやすくなり、同じ悩みを持つ友人と相談し合うことができるとした。 ・多様な学びの場が広がることで、子どもたちが自分に合った方法で学ぶことができ、地域全体で支え合うことにより、心身の健康や幸福感の向上につながるとした。 <p>●発表B班「日向市の教育について～不登校をなくすためには～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育分野、とくに不登校問題をテーマに、原因と生徒側の要望を整理して検討した。 ・不登校の生徒の居場所づくりとして、夜間中学の設置や、学校に行きたくない生徒向けのオンライン授業の実施を求める声があったとした。 ・カウンセラーなどの相談体制が不足しており、生徒が気軽に相談できる仕組みが必要である一方、「話を聞くだけで何も変わらない」と感じている生徒もおり、カウンセリングのあり方の見直しが必要であるとした。 ・いじめや人間関係の不安、勉強のペースやクラスの雰囲気合わないことなど、学校環境が不登校の大きな要因になっていると考えている。 ・夜間中学を新設しても通いづらい生徒もいることから、そのような生徒にはオンライン授業など柔軟な学び方を用意することが有効であるとの提案。 ・勉強の進度が速く、ついていけない生徒のため、放課後に利用しやすい自習室を開設し、個々のペースで学習できる環境を整備すべきとの提案。 <p>●発表C班「日向市の生活・福祉について（グリーンパーク、生活・福祉、日向市の福祉生活）」</p> <p>○グリーンパークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンパークにあまり人が集まっていないと感じ、その理由を調べた。 ・利用者が少ない要因として、グリーンパークに遊具が設置されていない点に着目した。

- ・調査の結果、広大な芝生広場を生かした公園として整備され、ピクニックなどを楽しむ場所として利用されていることが分かった。
- ・子どもが遊びやすい公園とするため、遊具を設置するには、①グリーンパークの整備計画を見直すこと、②住民の意見聴取と署名活動を行うこと、が必要との提案。
- ・遊具の設置により、子どもの成長促進、公園利用者の増加、地域コミュニティの活性化などのメリットが見込まれる一方、初期費用や維持管理費がかかるというデメリットもあると整理した。
- ・メリット・デメリットの両面を踏まえ、住民の声を聞きながら、公園の在り方を段階的に見直していくことが重要との提案。

○生活・福祉について

- ・生活・福祉の分野から、①学校行事への資金援助、②年金支給間隔の見直し、の2点について検討した。
- ・小・中・高の学校行事費を公的に支援し、予算不足で遠征等に全校参加できない現状（富島高校定時制の事例）を改善するとの提案。
- ・行事への支援を拡充することで、行事の充実、学校のPR効果、生徒数や部活動の活性化につながるとした。
- ・年金については、2か月ごとの支給では生活費やペットのえさ代のやりくりが難しく、年金だけでは暮らしにくい実態があると紹介した。
- ・年金の総額は変えず、2か月分を半額にして毎月支給する方式に改めることで、高齢者が家計管理しやすくなるとの提案。

○日向市の福祉生活について

- ・福祉と生活をテーマに、①高校生までの医療費無償化、②ごみ出しマナーとカラス被害対策、について検討した。
- ・日向市では中学生まで医療費が無料である一方、県内には高校生まで無料の地域もあることから、日向市でも高校生まで無償化するとの提案。
- ・高校生まで医療費が無料になれば、子どもが受診しやすくなるとともに、養育費負担の大きい子育て世帯の家計の助けになるとした。
- ・生活面では、夜間のごみ出しやルール違反により、カラスによるごみ荒らし、悪臭、道路の汚れ、不法投棄など、衛生環境の悪化が生じていると指摘した。
- ・対策として、市が導入しているカラス避けの「目玉入りデザイン」を未設置の場所にも設置するとの提案。
- ・市民一人ひとりのマナー向上や防鳥対策、ボランティア清掃の取組が進むことで、ごみ荒らしが減少し、地域全体の環境・衛生が向上するとした。

●発表D班「日向市の自然・環境について」

- ・日向市には豊かな海岸線や多くの河川がある一方で、海岸漂着ごみやごみの不法投棄、治水対策などの課題がある。
- ・プラスチックごみがマイクロプラスチックとなり、海洋生物の誤飲や死亡、漁獲量や観光への悪影響、さらには人の健康リスクにつながるおそれがあると整理した。
- ・駅構内や公共施設などにごみ箱を設置し、ポイ捨て防止と公衆衛生の向上を図るとの提案。
- ・海岸のごみ拾いの機会を増やし、海洋汚染の現状を知る場を広げることで、生態系保全、ごみ問題への意識向上、地域のつながり強化につながるなどの提案。
- ・これらの取組により、ポイ捨てが減少し、日向市全体の環境保全と市民の意識向上が期待できるとした。

●発表E班「日向市の雇用・労働について」

- ・日向市は、若者の県外流出や人口減少、全国平均より低い賃金など、雇用と働き方の面で課題を抱えている。仕事の数だけでなく、「ここで働きたい・暮らしたい」と思える魅力や職場環境が不足していると整理した。
- ・海や自然、サーフィン文化、特産品の基石など日向市ならではの資源を生かして地域のブランド力を高め、「仕事とライフスタイルがセットになったまち」として

発信し、観光・クリエイティブ・サービス業など若者に魅力ある新しい仕事を増やすとの提案。

- ・IT・医療・観光など成長分野への就職に対する補助金を上乗せするとともに、農業・観光・福祉などで短期・副業・お試し就労ができる場を増やし、都市部からの移住者や若者がチャレンジしやすい柔軟な働き方を整えるとの提案。
- ・市や関係機関が企業のデジタル化や業務の効率化を支援し、「有給休暇が取りやすい」「残業が少ない」「育児休暇が取りやすい」などの基準を満たした「働きやすい企業」を認定・PRして、賃金水準と働きやすさの両方を高めるとの提案。
- ・行政手続のオンライン化やAIチャットボットの導入などにより暮らしのデジタル化を進めるとともに、医療・介護・ITなど不足分野に対する住宅支援付きの移住・就労プログラムを創設し、便利で暮らしやすい生活環境を整えつつ人材を呼び込むとの提案。
- ・これらの取組を総合的に進めることで、高付加価値な仕事の増加、賃金水準と定着率の向上、多様な人材（若者・女性・高齢者・副業人材など）の活躍、地域コミュニティの活性化が進み、「働きやすく暮らしやすい地域の中心的なまち・日向市」を目指す必要があるとした。

2. 班別意見交換

●A班「教育について～不登校の子どもたちが再挑戦しやすい環境づくり～」

①現在の課題（今の状況）

- ・小学校の頃から小さなストレスが少しずつ蓄積し、限界に達してしまった。
- ・周囲に気を遣い過ぎたことでストレスがたまり、体調不良を引き起こした。
- ・友人関係のトラブルにより、精神的に大きな負担を抱えるようになった。
- ・保護者に相談しても十分に受け止めてもらえず、孤立感やつらさが増した。
- ・教員に対する恐怖感があり、安心して学校生活を送ることができなかった。

②理想的な未来（課題が解決された後）

- ・精神的に無理をせず過ごすことができる、不登校専用の場所がある。
- ・安心できる場所が確保されており、同じ悩みを持つ友達と今まで以上に相談ができる。
- ・多様な学びの機会と社会とのつながりがあり、子どもたちのニーズに合った方法で学べる教育の場や学びの機会を提供する取組が広がっている。

③解決策

- ・フリースクール（相談の場）など、通いやすい場の設置・創出。
- ・安心できる居場所の確保。
- ・多種多様な学びの機会と社会とのつながりの確保。

●B班「教育について～不登校をなくすためには～」

①現在の課題（今の状況）

- ・いじめや人間関係の不安、勉強のペースやクラスの雰囲気合わないことなど、学校環境が原因で不登校になる生徒がいる。
- ・不登校の生徒が安心して過ごせる居場所や、通学以外の学びの場が十分に確保されていない。
- ・カウンセラー等の相談体制が不足しており、生徒が気軽に相談しづらい。また、「話を聞くだけで何も変わらない」と感じる生徒もいる。
- ・授業の進度が速く、学習についていけないことが不登校の一因となっている。

②理想的な未来（課題が解決された後）

- ・学校に行かなくても、学びと社会のつながりが保障されている。
- ・子どもが安心できる場所を複数持つことができている。

③解決策

- ・第二、第三の居場所づくり。
- ・オンライン授業の充実。
- ・学校で動物を飼育する。

- ・校内フリースペースの充実。

●C班「日向市の生活・福祉について（グリーンパーク、生活・福祉、日向市の福祉生活）」

○グリーンパークについて

①現在の課題（今の状況）

- ・子供の遊び場が少なく、遊具がない。
- ・グリーンパークに人が集まらない。
- ・広い芝生広場を生かし、自然を楽しむ公園となっている。

②理想的な未来（課題が解決された後）

- ・遊具を設置することで子どもが多く遊びに来る。
- ・公園の利用者が増加する。
- ・地域コミュニティが活性化する。

③解決策

- ・整備計画の見直し、遊具の設置を検討する。
- ・住民・市民の要望を集める。
- ・保育園等による利用を進める。
- ・イベントを開催する。

○生活・福祉について

①現在の課題（今の状況）

- ・学校の予算が少なく、学校行事を中心に教育活動に支障が生じている。
- ・年金支給が2ヶ月に1回で生活が苦しく、現在の年金額では生活ができない。

②理想的な未来（課題が解決された後）

- ・学校の教育活動がより充実する。
- ・年金が毎月支給されることで生活しやすくなる。

③解決策

- ・学校の予算を増やすため、行政による支援が必要である。
- ・募金活動を行う。
- ・地方からの声を市へ届ける。

○日向市の福祉生活について

①現在の課題（今の状況）

- ・医療費は中学生まで無料である。
- ・カラスによるごみ問題、不法投棄の問題がある。

②理想的な未来（課題が解決された後）

- ・高校生まで医療費が無料となる。
- ・不法投棄がなくなり、クリーンステーションも清潔に保たれる。

③解決策

- ・他の自治体で高校生まで医療費を無料としている事例を参考に、同様の制度を導入する。
- ・カラス対策の「目玉模様のデザイン」などを設置する。
- ・箱型のごみ容器を設置する。

●D班「自然環境の現状と課題」

①現在の課題（今の状況）

- ・海岸漂流物やごみの不法投棄への対策。
- ・河川改修事業等による治水対策。

②理想的な未来（課題が解決された後）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てが現象する。 ・ゴミ問題への意識が醸成される。 ・洪水時の水位の低下により家屋浸水等被害が低減・防止される。 ・流下能力の向上により、河口・海岸線への高潮の遡上リスクが現象する。 ・行動計画を策定し、明るい未来となる。 <p>③解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設へのごみ箱の設置。 ・ビーチクリーンを定期的実施する。 ・マイクロプラスチックの問題の解決策として、出さない（発生源を減らす）、流さない（排出を防ぐ）、回収する（ごみ削減）、代替（素材転換・循環設計）、産学官の連携、環境教育の推進、日向市版マイクロプラスチック対策提案書（行動計画）の作成などに取り組む。 <p>●E班「日向市の雇用・労働について」</p> <p>①現在の課題（今の状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の質と地域での生活の魅力が複合的に影響し、若者や女性の流出を招いている。 <p>②理想的な未来（課題が解決された後）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者や女性の流出が抑制され、県外から人口が流入する。 ・労働生産性が向上し、賃金水準が改善される。 ・多様な人材がその能力を發揮できる。 ・新しい働き方が生まれ、日向市独自の強力なブランドが広がる。 ・働く環境と暮らす環境の両面で、若者に選ばれる地域になる。 ・魅力ある仕事が増え、若者が出店し、地域コミュニティに活気が戻る。 <p>③解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仕事」と「地域そのものの魅力」を一体として向上させる。 ・日向市独自の地域ブランドを構築する（サーフ&ワークシティなど）。 ・市の特産品や観光資源を活用して新しい職種を増やす。 ・就活応援補助金を特定の業種（IT、医療、観光など）において上乘せする。 ・農業、観光業、福祉などの分野で短期・柔軟な働き方ができる仕事を増やす。 ・デジタルツール導入や業務マニュアル化により生産性を向上させる。 ・「日向市働きがい認定企業制度（仮称）」を創設し、基準をクリアした企業を積極的に広報する。 ・行政手続のオンライン化やAIチャットボットを導入する。 ・UIJターン希望者に対し、住宅補助とキャリアアップ研修をパッケージにしたプログラムを創設する。（医療・介護・ITの分野に特化。）
<p>その他 特記事項</p>	<p>要返答事項 無し</p>

令和 8年 2月 20日
日向市議会議長 日高和広 様

第1班 班長 柏田 公和

高校生と市議会議員との意見交換会 実施報告書（日向高校）

開催日時	令和7年11月18日（火） 15:00 ～ 16:40
開催場所	議場
出席議員	【1班】（班長）柏田公和（副班長）壺岐紘明（全体記録者）三輪邦彦 黒木 正 三樹喜久代 小林隆洋 高橋由美 黒木英和 友石司 黒木健二
参加生徒数	10名
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会（司会：議会事務局） 2. あいさつ（班長：柏田公和議員） 3. 自己紹介（議員・生徒） 4. 発表（A班、B班、C班） 5. 意見交換 6. 閉会の言葉（副班長：壺岐紘明議員） 7. 閉会
意見交換の内容等	<p>1. 高校生からの発表</p> <p>●発表A「災害対策（地震・津波）～言葉・文化の壁を越えて安全を守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日向市は海に面していて標高が低い場所が多く、地震や津波、台風などの災害で大きな被害を受ける可能性がある。 ・南海トラフ地震が今後30年以内に起こる可能性が高いため、防災対策を地域全体で見直す必要がある。 ・避難タワーの数が足りていない一方、新設には費用や時間がかかるため、まずは既存の避難タワーの設備を充実させるとの提案。 ・避難タワーに食べ物や水、防寒具などを備蓄し、避難後の行動が分かるマニュアルを設置・配布すると提案。 ・日向市に増えている外国人に対応するため、防災情報の多言語化や外国人向けの防災訓練を増やすとの提案。 ・災害はいつ起こるか分からないため、一人ひとりが防災意識を高め、地域全体で備えることが大切であるとした。 <p>●発表B「18歳以下を対象とした医療制度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日向市では医療費が高く、歯科検診で治療が必要とされた高校生の受診率が約20%と低い結果となっている。 ・医療費の高さが原因で、病院に行きづらい人がいると考えられる。 ・医療費助成の対象を高校生または18歳以下まで広げ、医療費を無償化すると提案。 ・無償化により経済的負担が軽減され、病気の早期発見や早期治療につながるとした。 ・宮崎県内の他市町村でも高校生までの医療費助成が拡充されており、日向市も同様の対応が必要であるとした。 ・医療費助成拡大には自治体の予算負担や医療機関の混雑、負担の公平性、医療の質低下などの課題もあるが、メリットが大きいと考えられるとした。 <p>●発表C「若者よ！日向にUターン！計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日向市は人口減少や定住率の低下、雇用機会の不足など多くの課題を抱えている。 ・若者が地元で働く人が少ない理由として、「地元の企業を知らない」「自分に合う仕事が見つからない」という仮説を立てた。 ・地元企業の情報を分かりやすくまとめたパンフレットを作成し、小・中・高校生に配布して地元の魅力を伝えるとの提案。 ・パンフレットは小学生用と中学生用の2種類を作成し、SNSでも情報発信を行うことで、県外からの移住者増加も期待できるとした。

- ・日向市のホームページに職業診断機能を設け、自分に合った仕事や雇用先を紹介する仕組みを設けるとの提案。
- ・これらの取組により、若者の地元定着や人口・働き手の増加につなげることを目指すとした。

2. 班別意見交換

●A班「災害対策（地震・津波）～言葉・文化の壁を越えて安全を守る」

①現在の課題（今の状況）

- ・南海トラフ地震の発生確率が高まっている。
- ・避難タワーの数や設備の見直しが必要である。
- ・海外の方への対応（ハザードマップ等）が十分でない。

②理想的な未来（課題が解決された後）

- ・慌ただしい状況の中でも、避難先にマニュアルが備えられていることで、冷静に対応できる。

③解決策

- ・タワーに避難した際、そこで留まる必要がある場合に備え、食料等を備蓄する。
- ・一次・二次避難に関する情報を事前に市民へ通知し、マニュアルとして周知する。
- ・多言語対応のハザードマップや行動マニュアルについて、地域への説明会や避難訓練を実施する。
- ・ホテル・旅館等においても多言語表示を進める。

④その他の意見

- ・避難所での自分の物資を共有できるような仕組みが必要である。
- ・避難タワーに屋根を設置する。
- ・簡易トイレの整備が必要である。
- ・防災情報の認知・周知のあり方を工夫する必要がある。
- ・海外の方との言語や心の壁をどのように乗り越えるかが課題である。

●B班「18歳以下を対象とした医療制度」

①現在の課題（今の状況）

- ・高校生の医療費が高い。
- ・経済的理由により、病院に行きづらい。
- ・お金がかかるため、体調不良を親に言い出しにくい場合がある。

②理想的な未来（課題が解決された後）

- ・個人の経済的負担が軽減される。
- ・病院に行きやすくなり、早期発見・早期治療につながる。
- ・高校生などの他市町村への人口流出が少なくなる。

③解決策

- ・15～39歳のAYA世帯は慢性疾患や重篤な病気の発生率が低く、受診回数も少ない。ため、医療費無償化に要する財政負担は小さいと考えられる。若年期の受診控えを防ぐことで、将来的な重症化や医療費増加を抑える効果が期待できるため、無償化は妥当であるとの意見。
- ・医療費を支えるため、税金の使い道を見直し、無駄を減らして必要な財源を確保する。

④その他の意見

- ・すべてを無償化するのではなく、一部負担にする方法も考えられる。
- ・自治体によって医療費助成にばらつきがあるのは不公平と感じる。
- ・宮崎市が行っているような、段階的に家庭の負担軽減を進める方法も参考になるのではないかと。
- ・ふるさと納税を活用した医療費支援制度を検討してはどうか。

	<p>●C班「若者よ！日向にUターン！計画」</p> <p>①現在の課題（今の状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元にはどのような企業があるのか知らないままに大人になっている。 ・自分に適した仕事が見つからないまま大人になっている。 <p>②理想的な未来（課題が解決された後）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の頃から職業を知り、自分に適した職業を見つけられる。 ・その結果、人口や働き手、定住者の増加につながる。 <p>③解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を充実させる。 ⇒企業から小中学生向けのパンフレットを作成してもらい、配布・配信・発信する。 ・市のホームページに職業診断機能を設け、自分に合う職業診断ができるようにし、診断結果に応じた雇用先の紹介を行う。 <p>④その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットや資料、情報等があっても、子どもたちの目や耳に届きにくい。SNSでの発信が必要であり、URL・QRコードやInstagram、TikTokなどの活用が望まれる。
<p>その他 特記事項</p>	<p>要返答事項 無し</p>

令和 8年 2月 20日
日向市議会議長 日高和広 様

第 1 班 班長 柏田 公和 様

高校生と市議会議員との意見交換会 実施報告書（日向ひまわり支援学校）

開催日時	令和8年1月21日（水） 10:00 ～ 11:30
開催場所	日向ひまわり支援学校 作業室A
出席議員	日高和広 黒木克彦 柏田公和 三輪邦彦 壺岐紘明 黒木雅由 河野ひとみ 帆足武男 黒木 正 高橋由美
参加生徒数	22名
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじまりのあいさつ（進行：日向ひまわり支援学校教諭） 2. 学習の流れに関する説明 3. 自己紹介（議員） 4. 市議会の役割に関する説明（議会事務局） 5. 意見発表（1年生、2年生、3年生） 6. 質疑応答 7. 学習のまとめ 市議会議員からのあいさつ（調整会議会長：黒木克彦議員） 生徒代表のあいさつ 8. 終わりのあいさつ
意見交換の内容等	<p>I. 全体の概要</p> <p>日向ひまわり支援学校の高等部生徒との意見交換会では、市議会の役割やしくみ、市の課題（交通、福祉施設、若者向けの施設の不足など）について議論した。生徒からは、市の現状に関する質問や、大型商業施設の誘致、公園の整備、福祉バスの増設といった具体的な要望が出された。</p> <p>議員はこれらの意見に対し、現状を説明し、今後のまちづくりのヒントとして市に伝えると回答した。</p> <p>II. 要点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじまりのあいさつ（進行：日向ひまわり支援学校教諭） 2. 学習の流れに関する説明 3. 自己紹介（議員） 4. 市議会の役割に関する説明（議会事務局） <p>○概要</p> <p>議会とは、日向市の決まりごと（ルール）やお金の使い方などについて話し合い、みんなが住みやすいまちをつくるための会議である。日向市には約56,000人が住んでいるが、市民全員で集まって話し合うことは難しいため、市民の代表者である議員を選び、その議員が集まって会議を開く。この議員の集まりが議会である。</p> <p>○要点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会の役割：市のルールや予算を話し合い、住みやすいまちづくりを目指す。 ・議員数：約56,000人の市民の代表として、現在20名の議員が選出されている。 ・議員の選出：18歳以上で日向市に3ヶ月以上住んでいる市民による選挙で選ばれる。 ・議会の開催頻度：定例会が年4回（3月、6月、9月、12月）と、必要に応じて臨時会が開かれる。 ・会議の種類：議員全員で話し合う「本会議」と、専門的なグループに分かれて話し合う「委員会」がある。 ・委員会の種類：常任委員会、特別委員会、議会運営委員会が設置されている。 ・会議場所：本会議は市役所4階の議場で、委員会は同階の委員会室で開かれる。 ・情報公開：会議は誰でも傍聴でき、「市議会だより」やインターネットのホームページで情報が公開される。 ・市民からの意見提出：「請願」（議員を通して文書を提出）と「陳情」（議員を通さずに文書を提出）という制度がある。

5. 1年生の発表と質疑

1年生は、総合的な学習の時間（ひなた探究タイム）で「日向市をもっと知ろう」をテーマに学習した。日向市の観光地を調べ、自分たちでルートを作成して校外学習を行い、日向市の良いところ再発見マップを作成した。その上で、3年前の意見交換会で先輩たちが提案した3つのテーマについて、その後の変化を質問した。

○質問1：若者が楽しめる場所について

【生徒からの質問】

3年前に「日向市に若者がもっと楽しめる場所があると良い」という提案があった。これについて、その後の変化を教えてください。

【市議会議員からの回答】

人が集まるような大きな施設は、現状ほとんど変わっていない。大型の商業施設などの進出は、ここ3年間ほとんどない状況である。議会としては皆さんの思いを受け止めているが、相手がいることなので、まだ形にはなっていないのが現状である。

○質問2：バスの運行本数、ルートについて

【生徒からの質問】

3年前に「バスの運行本数やルートを増やしてほしい」という提案があった。これについて、その後の変化を教えてください。

【市議会議員からの回答】

2025年12月1日に、日向市で新しい乗り合いバスサービス「のるーと日向」が導入された。これは路線バスとタクシーの利点を組み合わせた移動手段であり、乗降は指定された停留所（236カ所）で行う。事前に予約すると、AIが他の利用者の予約と組み合わせて、待ち時間が少なく効率的なルートで目的地まで移動できる。決まった時間に縛られず必要な時に利用できるため、高齢者や学生、免許を持たない人にも便利な交通手段である。「のるーと日向」は、市民の移動を支え、誰もが安心して外出できるまちづくりを目指す新しい取り組みのため、生徒の皆さんもぜひ利用してほしい。

○質問3：医療的ケアが必要な生徒が利用できる事業所の不足について

【生徒からの質問】

3年前に、「医療的ケアが必要な生徒が活用できる事業所が市内に1か所しかなく、生活介護やA型の事業所が増えてほしい。」という提案があった。これについて、その後の変化を教えてください。

【市議会議員からの回答】

数年前に比べて「toko とこ」という生活介護施設が増えた。議会としても、このような施設がさらに広がるよう努力していきたい。

6. 2年生の発表と質疑

2年生は、日向工業高校との交流に向けて「余暇」について調べ学習を行った。家でできる余暇（ゲーム、アニメ、DVD、YouTube、バランスボール、読書、カードゲーム、音楽、パズルなど）と、屋外でできる余暇（サーフィン、キャンプ、ゴルフ、動物園、ブランコ、ジャングルジム、プール、滑り台など）に分けて調査した。実際にゴルフやプールも体験したほか、実際の交流活動で実施するゴールボールと卓球バレーのルールについても調べ学習を行った。

2学期には、東京ディズニーランドとスカイツリーソラマチについて調べ学習を行い、修学旅行に向けて滞在時間やお小遣いを考慮した見学の順番やお土産について検討した。また、防災についても調べ学習を行い、災害の種類や被災時のまちの様子、困ること（食料、水、風呂など）を考え、被災中の生活や食べ物についてグループで調査した。これらの調べ学習を通して、日向を魅力あるまちにするため、5つの要望が出された。

○2年生からの要望

要望1：日向にある大型施設を、お店の数などを増やすなどして、もっと大きくしてほしい。

要望2：日向にもっと YouTuber などの有名人をよんでほしい。

要望3：ブランコがたくさんある大きな公園がほしい。

要望4：ドラえもののライブが日向で見たい。

要望5：車いすのまま利用できる公共バスがほしい。

○議員からの回答

要望1・2・4：大型施設の出店や有名人のイベントについては、市だけで決めることが難しく、多くの費用や準備が必要となるが、まちづくりのヒントとして市へ伝える。

要望3：安心して使える公園づくりは重要な考え方である。すぐにすべてをかなえるのは難しいが、少しずつ良くなるよう、市と一緒に考えていきたい。

要望5：安心して移動ができるまちづくりというところに関しても重要な案件だと考える。各部と連携しながら改善の可能性を探っていきたい。

7. 3年生の発表と質疑

3年生は、福祉事業所での実習を通して学んだこと、感じたこと、困ったことについて発表した。

【就労継続支援A型事業所での実習報告】

- ・食品加工会社などのユニフォームのクリーニングや配送補助業務、パソコン操作などの作業を行っている事業所で、ハンガー掛け、配送補助、タオルたたみ、白衣や帽子のサイズ並べなどの作業を担当した。実習で特に学んだことは、後の作業工程の担当者が処理しやすいように、ユニフォームの上下のバーコードと会社名・氏名を同じ向きに並べてハンガー掛けすることの重要性であった。

【就労継続支援B型事業所での実習報告】

- ・市役所や社会福祉協議会のトイレ清掃、依頼を受けた場所の除草作業、しいたけや切り干し大根の段ボール詰め、パンやクッキーの製造・販売など多様な作業を行った。パンの作り方を学んだため、家族に作ってあげたい。
- ・収穫した野菜の袋詰めやパック詰め作業を行ったが、夏場のビニールハウス内での作業が暑くて大変であった。
- ・洗濯代行作業、新聞エコバッグ作り、トマトパックのラベル貼りや箱作りを行った。個人ごとに洗濯物をまとめる際、洗濯物に書かれている名前を探すのが難しかった。
- ・農園作業や食品加工、製造、外部からの委託作業などを行った。

【生活介護事業所について】

- ・生活介護事業所では、ペットボトルのダブル探しやウォーキング、漢字の学習やレクリエーション、調理活動などに取り組んだ。生活介護事業所も空きが少なく、進路選択に苦労した。

【生徒からの質問と市議会議員からの回答】

○質問1

- ・就労継続支援A型事業所がもっと増えると進路選択の幅が広がるが、市議会として何ができることがあるか。
- ・卒業後、働きたい就労継続支援B型事業所があったが、空きがなく、別の事業所へ行くこととなった。日向市内にも空きがない事業所がある。市議会として何かできることはないか。
- ・障がいのある人のために、どんな取り組みを行っているか。

○回答1

障がいのある方が安心して生活できるように、市議会議員は日頃から計画づくりや話し合いを重ねている。また、困ったときに相談できる場所や助けてもらえる仕組みがきちんと使えるよう、市に伝えている。誰もが大切にされるまちを目指し、ルールや考え方を大事にしながら、日向市をより良くするために活動している。

	<p>○質問 2 ニュースや SNS で「収入は増えていかないのに税金は増え続けている」と聞くが、その理由は何か。</p> <p>○回答 2 税金は学校や病院、道路、消防など生活に必要な施設の維持に使われている。高齢者の増加や物価上昇により支出が増える一方で、収入はすぐに増えないため、税金が増えているように感じる。社会を良くするためには、無駄遣いを減らし、給料が上がりやすい環境作り、本当に困っている人を助けることが大切である。「つらい」「おかしいな」と思ったときに声を出すことが、まちや社会を良くする第一歩である。18 歳になったら選挙が可能となるため、自分の権利を大切に使ってほしい。</p> <p>○質問 3 日向市をよくするために、どんな取り組みを行っているか。</p> <p>○回答 3 さまざまな人から困りごとや要望を聞いて市役所に伝える。また、税金の使い道やルールづくりを話し合うなど、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めている。</p> <p>○質問 4 実習を行った事業所のお昼休憩は 12 時から 13 時であったが、市議会議員にはお昼休憩があるのか。</p> <p>○回答 4 お昼休憩については、議員によって異なるが、ほとんどの議員は議会開催時に昼食をとっている。食事内容は、麺類、ごはん、弁当、軽食（カロリーメイトなど）など様々で、体調や好みに合わせて調整している議員もいる。</p> <p>○質問 5 日向市⇄延岡市⇄宮崎市は蒸気機関車は復活しないのか。</p> <p>○回答 5 蒸気機関車は日豊本線でも約 50 年前まで走っていたが、現在は電気で走る電車が主流である。蒸気機関車は燃料や人手が多くかかり、費用も電車の約 10 倍かかるため、観光地以外での運行は難しい。復活を望むなら声を上げ続けることが大切。</p> <p>○質問 6 議員になる前はどのような職業をしていたのか。</p> <p>○回答 6 議員になる前の職業は多様で、以下のような経歴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体職員 ・航空自衛隊自衛官 ・造船業や砂防ダム建設関連 ・学校教員（高校や支援学校） ・保険代理店 ・市役所職員 ・市役所会計年度職員 ・農協職員 ・看護師
<p>その他 特記事項</p>	<p>要返答事項 無し</p>

令和 8 年 2 月 27 日
日向市議会議長 日高和広 様

調整会議 会長 黒木 克彦

令和7年度 高校生と市議会議員との意見交換会 アンケート結果

(R7.11.6 日向工業高校)

◆回答者数=11人(教員1名を含む)

Q1-1. 意見交換会について

有意義だった	11
どちらともいえない	0
有意義ではなかった	0

Q1-2. 設問1-1でそう思った理由

- ・市議会議員の皆さまとはあまり話す機会がないので、とても学びや経験を深められたと思ったからです。
- ・生徒が出さない意見を聞くことができた。
- ・市議会議員の方と日向市をもっとよりよい地域にするために意見交換をして、とても話しやすくスムーズに進められたので、とても良かったです。
- ・A班での自転車利用者の未来に関して話せたから。
- ・自分たちだけではでなかった意見がでたことで、テーマに対してできることが広がったから。
- ・議員の皆さまが多く意見をくださったおかげで今後の改善策が多くもらえて、今後のための経験にもなったからです。
- ・いろんな意見が聞けて良かった。
- ・自分たちとは違う立場での意見がとても良いと思った。
- ・議員の人と意見交換を行ったことで、自身の考え方を見直すきっかけになったためです。具体的に、私は議員の人が市を動かしている、議員次第で決まる、とまるで議員が万能であるかのように考えていましたが、議員の人の意見は市の住民の意見を汲み取って発言していたり、自分の無知さを見直すきっかけになりました。
- ・生徒では深めきれなかった所を議員さんと話すことで、いろんな意見を聞き、新しい視点で見ることができたりして、深めることができました。
- ・[教員] 私たち教員ではアドバイスできない内容などが含まれており、勉強になりました。

Q2. 今回の意見交換全般の改善点、感想、意見、要望など

- ・人数に応じたテーブルを用意すると良いと思いました。私はこのままでも良いのですが、人によっては、気にする人もいるかと思いました。
- ・議員の方を交えることによって、幅広い意見を取り入れることができたので、意見交換会をやって良かったです。
- ・市議会議員の皆さまは、的確な問題や今後どうしたら良いか、私たちに緊張させないような気遣いもしてくださったので、とても居心地が良かったです。

- ・自分の思っていた意見を議員さんに言うことができた。
- ・[教員] 他の高校と一緒に意見交換を行う。

Q3. 若い世代の方が市議会に関心を持ってもらうために必要なこと

- ・公民館などの掲示板に載せてもいいと思います。
- ・インスタグラムなど若者が使う SNS を使ってほしい。
- ・CM を作って、日向市の魅力、人気なお店、日向市ならではのものなどを PR する。
- ・自転車白線の確認のためのアプリの作成など。
- ・議会活動や議会のような SNS などを活用して情報発信してほしい。
- ・公式 LINE の宣伝やインスタなどの広告をしてほしいと思いました。
- ・SNS などを利用する。
- ・議会の活動をプリントなどに表して各学校に配ってもらったら関心を持ってもらえると思います。
- ・インスタグラムなど SNS を活用し、市議会をわかりやすく楽しい雰囲気で紹介すると若い世代も関心を持つと思う。

Q4. その他、市議会のことについて聞きたいこと等

- ・市議会ではどのような会議があるのか、市での困りごとに対してどのようなことをしているのか、どのような活動をしているのか知りたいです。

Q5. 市議会議員になったら、やってみたいこと

- ・この日向市をもっとよりよいまちにしたいのはもちろん、一度は去っていった人が再び来てくれるような安心したまちをつくりたいです。
- ・若者が盛り上がるようなイベントをつくりたい。
- ・まだわかりません。
- ・交通整備をしっかりしたい。白線などがなくなっていたり、でこぼこしていて危険なところがあるため。
- ・市議会議員になったら、高校や資格などの資料館を作りたいと考えます。そして日向市を盛り上げていき、すごしやすい環境づくりをしてみたいと思いました。
- ・みんながやらないようなことに挑戦したい。
- ・まず地域の住民の方たちの意見を知り、考え方を広げられるようにしたい。
- ・地域の活性化に向け、高校生など若い世代が楽しめる施設の建設ができたら良いと思いました。

令和7年度 高校生と市議会議員との意見交換会 アンケート結果

(R7.11.6 富島高校全日制)

◆回答者数=11人

Q1-1. 意見交換会について

有意義だった	11
どちらともいえない	0
有意義ではなかった	0

Q1-2. 設問1-1でそう思った理由

- ・学校でもいろいろなことを考えたが、それでも見つからなかったことを気づかせてくれたのでよかった。
- ・議員さんとの話し合いで、様々な意見や取組みを聞いたから。話しやすかった。
- ・意見交換により、自分たちの意見がよりよい意見になったから。
- ・楽しく意見交換会をすることができ、自分の意見を話せる機会だったので良かった。
- ・議員の方々とその話題に対して意見交換ができました。私はその中で日向市の魅力やそれを改善したいと思いました。
- ・どの班も意見がしっかりしていて、日向市の活性化に力を入れる発表だったから。
- ・あまりなかった貴重な機会だったので、すごくためになりました。
- ・A・B・C班の内容であれば、日向市をより活性化できると思いました。議員の方々と交流を行うことで日向市の内容を知るきっかけにもつながりました。
- ・今までこういう機会がなかったので、議員の方々の意見を初めて聞きました。貴重な体験ができて良かったです。
- ・政策を自分たちで考えるのはインターネット上だけでのものばかりだったけど、実際に現場で働く議員の声を聞いたから。
- ・たくさんの改善案と具体的な内容をより深めることができました。大学での活動に活かしたいです。

Q2. 今回の意見交換全般の改善点、感想、意見、要望など

- ・全体での意見交換をしたほうが良いと思う。
- ・議員さんたちがやさしくて発言しやすかった。
- ・もう少し人口を増やした方が良いと思いました。
- ・他のグループとも意見交換をしたいなと思いました。他の班の内容を聞くことで、別の班の意見も知り、自分の班の課題点も知ることができたのではないかと思います。
- ・議員の方からの質問コーナーを作ってもよさそうと思った。
- ・ここでするのではなく、学校に来ていただいて、クラスごとに行うのも良いかと思います。

Q3. 若い世代の方が市議会に関心を持ってもらうために必要なこと

- ・ SNS で広める。
- ・ SNS の発信。
- ・ インスタグラムなど、もっと SNS を活用していくことが必要だと思う。
- ・ 地域住民とふれあう会。
- ・ プリントを作成することで、目を通してもらえるのではないかと思います。
- ・ 今日のような交流機会を増やし、親近感を若者に感じさせる。
- ・ 高校生との交流イベントを開く。

Q4. その他、市議会のことについて聞きたいこと等

- ・ 年収（詳しく）
- ・ 普段どんな生活を送っているのか。
- ・ 人件費

Q5. 市議会議員になったら、やってみたいこと

- ・ 日向の人口減少を抑える。
- ・ SNS でどのように活動しているのか発信したい。（そうすれば若者にも見てもらえるため。）
- ・ 自分が出した意見を実現させてみたい。
- ・ もっとスポーツができる場所もつくってほしい。
- ・ 日向市のことをよりよくしたい。
- ・ 飲食店を増やしたい。
- ・ みんなと話し合う。
- ・ 安い飲食店をつくってほしい。
- ・ 若者の奇抜な意見を聞く交流会。
- ・ 高校生や中学生を主体にイベントを開きたい。

令和7年度 高校生と市議会議員との意見交換会 アンケート結果

(R7.11.7 富島高校定時制)

◆回答者数=20人

Q1-1. 意見交換会について

有意義だった	20
どちらともいえない	0
有意義ではなかった	0

Q1-2. 設問1-1でそう思った理由

- ・議員さんのいろいろな意見が聞けたから。
- ・議員と直接話す機会がめったにないので有意義だと思う。話や出た意見をその場でまとめられるのがすごいと思った。
- ・議員の方々の意見が聞けたのと、2～4年の発表で日向市がどんな状態なのか知れたから。
- ・日向についてどのような状態なのか知ることができたのでいい時間だったと思う。
- ・同じA班の議員さんがやさしかった。
- ・よかった。
- ・話し合いをスムーズにしっかりできたから。
- ・自分たちが出した意見とは別に、先輩たちの視点からの意見がとても貴重でよかった。議員さんとの話し合いもやりやすく、思ってた雰囲気と違った。
- ・発表がスムーズに進んだから。
- ・議員さんの意見を聞き、自分たちが考えた解決策に加え、もっと詳しい解決策を考えることができた。
- ・今回の意見交換会のために準備していて、今まで気にしていなかった問題に気づくことができた。
- ・解決してほしいことを言えたり、解決方法も前向きに考えてもらえた。とても親しみやすくて言いたいことが言えて安心した。
- ・1～4年生の意見が聞けてよかった。
- ・今後の日向市の問題などをしっかりと考えられた。今後の解決策も一緒に考えられたのがとても良かった。
- ・自分で調べたことを意見交換したとき、こうすれば良かったかと思ったから。また、他学年の発表を聞くことで、次はこうすれば良いかとも思い、今後活かせるから。
- ・限られた時間の中で意見を出し合い、議員の方々とも意見交換できたので有意義と感じた。
- ・市議会議員さんたちとお話しができたことがとても良かった。
- ・4年は雇用と労働の議題で、日向は医療の人材が不足していますが、東京から来ている人が多く、サーフィンを趣味にしている人がいる、といったブランディングになり

そんなものもあり、とても有意義な時間となった。

- ・めったに一人の市民として意見を言える機会が無いから。

Q2. 今回の意見交換全般の改善点、感想、意見、要望など

- ・自分たちが出した意見にしっかり丁寧に答えてくれてとてもよかった。
- ・きっちり時間が区切られていて、少し圧迫感があった。
- ・今回の意見交換会で、私たちが気づけなかった視点での課題について知ることができて、大変有意義な時間になった。
- ・市議会に意見を出すということは簡単にはできないイメージがあるので、気軽に意見を言えるようにしてほしいと思った。
- ・高校生相手に親身になって接してくださるので、緊張を和らげてもらって意見交換に参加することが出来た。

Q3. 若い世代の方が市議会に関心を持ってもらうために必要なこと

- ・アイデア箱を設置するなど。
- ・SNS とか。
- ・交流ですかね。もっと身近な存在だと嬉しいかもしれないです。
- ・インスタやXなどの SNS を使った情報の発信。
- ・意見交換会のような会を小さい規模で開いてみる。
- ・ポスターなどを使って、SNS で情報発信をしていることをアピールする。
- ・こういう機会を増やす。
- ・Instagram。
- ・テレビとかで情報発信をしてほしい。
- ・議員が学校などに出向いて生徒たちにまちづくりについて意見交換する機会を設ける。
- ・日向市は街灯が少なく歩いていて見えないことがあるので、街灯を増やしてほしい。
- ・今回の意見交換のように、市民が自由に意見を出せる場を設けたり、デジタルによって意見を出せるようにする。若年層の人にもこのような場があるということを知ってもらう。
- ・若者向けの交流イベントを行う。学校での座談会など。

Q4. その他、市議会のことについて聞きたいこと等

- ・議員の方たちは日頃どういった仕事をされているんですか？

Q5. 市議会議員になったら、やってみたいこと

- ・みんなにしっかり自分の意見を伝え、不満などがなくなるようにしたい。
- ・伝統的なイベントに力を入れたい。(十五夜、ひよつとこ)
- ・日向はごみの分別が厳しいからゆるくしたい。
- ・みんなが困らないようにしたい。
- ・議員を交えた楽しいイベントをしたい。
- ・日向市をよりよくするためにいろいろな提案をしたい。
- ・住んでいる人たちが楽しめるようなイベントや施設を作りたい。
- ・もし私が市議会議員になったら、市民の声をしっかりと聞いて暮らしやすいまちづくりに努めたい。
- ・年金をもっと増やして増加している高齢者にもっと自由に生きてほしい。
- ・医療費を安くする。国際交流を増やしたい。
- ・今回話した問題や色々な解決策を実行していきたい。
- ・日向市の現状を調べて、色々なことを発表して、市民の声を聞きながら対策をして、まちが今よりもっと良くなることをしたい。
- ・市民の皆さんが「住み続けたい」と思えるような魅力的な日向市づくりに全力を尽くしたい。
- ・県外の方がより多く流入するような政策を議論し、暮らしやすいまちづくりをしたい。雇用と労働ではテレワークを取り入れるなど、出勤できなくても自宅で働くことができるような制度を取り入れたい。
- ・暮らしやすい環境づくり。

令和7年度 高校生と市議会議員との意見交換会 アンケート結果

(R7.11.18 日向高校)

◆回答者数=11人（教員1名を含む）

Q1-1. 意見交換会について

有意義だった	11
どちらともいえない	0
有意義ではなかった	0

Q1-2. 設問1-1でそう思った理由

- ・みなさんが真剣に聞いてくださって、解決案まで意見を言っていた頂き、生徒会に入ってからとても良い経験になったから。
- ・自分たちの提案した意見について議員の方々と話し合いをし、自分たちの意見をより深めることができたため。自分たちが知らなかった日向市の活動を知ることができて、日向市について考えを深めることができたため。
- ・昨年と引き続き、議員の方々と普段考えない事を意見交換でき、そんな視点もあるのかと感ずることができました。
- ・新しい価値観を得ることができました。目先のことと長い未来を考えた二つのことが交わり本当に有意義な時間になった。
- ・自分たちが知らなかったことや、調べきれなかったことなど、議員の方々から日向市の取組みなどを学ばせていただけて、より深く考えることができました。
- ・自分たちではどれだけ考えても出なかったと思うような意見が出たりしたので、とても勉強になりました。
- ・私たちが考えた議題について、市議会の方々と一緒に深く考えることができました。医療費無償化のメリット・デメリットは考えていたけど、その解決策についても話し合っただけで考えることができ、とても有意義な意見交換会でした。市議会の方々もとても話しやすかったです。
- ・普段、医療制度について話し合う機会はなかなかないので、今回議員さんと深いところまで話し合うことができ、とても良い時間を過ごすことができました。
- ・今回初めての意見交換会で自分の知らなかったことを知ったり、議員の方々と同じ目標に向かって話す機会がなかなかなく、とても楽しく本気で未来について話しあえて、未来に希望が持てたからです。
- ・普段考えないようなテーマで深くお話をすることができ、とても有意義でした。
- ・普段、市議会議員の方々と話をさせてもらう機会はなかなかないので、高校生が何を考え、何を知っていて、何がわからないのか直接聞いていただけるとはありがたい。

Q2. 今回の意見交換全般の改善点、感想、意見、要望など

- ・ 普段関わることのない方々と沢山話すことができるととても嬉しかったです。改めて市議会というものに興味を持ってました。
- ・ 議員の方々がとても話しやすく、親しみやすかったです。最初の方は、とても緊張していましたが、議員の方々が話しかけてくださって、とても有意義に過ごすことができました。
- ・ 議員の方から明るく話しかけてくださって、とても楽しかったです。自分たちだけでは得られない情報を知ることができました。
- ・ 議員さん方の価値観が豊富にあったので、高校生との共通部分を見つけて、それに重さを向けて話すにより深くなると感じました。
- ・ 議員の方々が進めてくださり、やりやすく話しやすかったです。
- ・ 市議会が私たちの考えたテーマに対する具体案をどこまで実現できそうかといった現状がわかると尚良い。
- ・ [教員] 他の高校ではどのような提案が出たのか知りたい、ということもあるので、他校との合同での開催というのも面白いのではないかな。

Q3. 若い世代の方が市議会に関心を持ってもらうために必要なこと

- ・ SNS活動や市民の方々とのお話し会というものがあれば若い方々が興味をもちそうです。
- ・ 学校に配布物として配ってほしいです。クラスの後ろの方の掲示板に貼ってあるものは良く見るので、嬉しいです。
- ・ あまり議会活動を知るきっかけがないので、若者が使っている SNS で情報発信したり、見学する機会がほしい。
- ・ 高校のHPにも今日のような事を掲載し広めてもらう。高校で実際に議会を開く。
- ・ 今回の意見交換会で、自分も関心をもち関わられたので、議員さん方がもっと表にでることで、みんなが議員さん方を知り、議会・日向市に関心をもてるのではないかと思います。
- ・ 今回のような市議会と関われるような場を増やす。
- ・ 可能なら、若い世代がよく使う SNS を通じて議会活動について情報発信をしてほしい。(わかりやすく、おもしろいかんじ)
- ・ SNS の利用→インスタ、YouTube チャンネル (日向市) の開設
- ・ この市議会の様子を発信することもいいのかなと思いました。
- ・ パンフレットも作成はしているもののあまり知れ渡っていないのが現状だったので、SNS をうまく利用するとよいと思う。
- ・ [教員] 議員の方々にもぜひ学校に来ていただいて、普段の生徒たちの様子を見てもらうだけでも違うと思う。

Q4. その他、市議会のことについて聞きたいこと等

- ・ 市議会議員の方の所属している党はどこかがとても知りたいです。
- ・ 今、何の議論を行っているのか、また、宮崎県内だけでなく全国の規模だとどのくらいにあた

るのか。

Q5. 市議会議員になったら、やってみたいこと

- ・市民の方々の生活が苦しくならないように補助金などを支給したりしたいです。
- ・学校の授業等で市議会がどんなことをしているのか動画を撮ったり、実際に来てもらうなどして、市議会というものの知識を多く持ってもらいたいです。
- ・今の若者によりそう形で議論を行いたい。
- ・直接日向市民の方々の日向市への思いをきき、より暮らしやすい日向市にできるようにしたいです。
- ・第一に市民のことを考え、そのときの市の現状をしっかりと理解し、問題点があればその解決をしていきたいです。
- ・医療制度について、SNSを使った日向のPR。
- ・私が市議会になったら、若者が集まれる施設をつくりたいです。現在集まれる場所が、駅・スターバックス・イオンくらいしかない。
- ・私が市議会議員になったら、今回のような高校生（若者）との交流を増やして、市民全員で市をつくっていける会を開きたいです。
- ・若者向けの政策。若者が集まれる場所づくり。今ある日向の自然を残しつつ、よりたのしい日向市へ。

令和7年度 高校生と市議会議員との意見交換会 アンケート結果

(R8.1.21 日向ひまわり支援学校)

◆回答者数=11人

Q1-1. 意見交換会について

有意義だった	11
どちらともいえない	0
有意義ではなかった	0

Q1-2. 設問1-1でそう思った理由

- ・話の内容がむずかしいと思いました。
- ・今よりもっと店が増えお客さんたちがにぎやかになる。
- ・将来に役立つ話で、ちょっと難しかったところもありましたが、いい勉強になりました。なかなか市議会の人たちとしゃべることがなかったので楽しかったです。
- ・楽しかった。
- ・うまく発表ができて良かったから。
- ・市議会議員の仕事等が知れてとても良かったです。大変さも含めてこんなにみんなのためにいろいろ考えてくださってるんだと実感しました。
- ・蒸気機関車を走らせる（走らせられない）ことがわかって良かった。
- ・上手に発表できたから。
- ・自分たちの質問がちゃんと回答されてかえってきたから。

Q2. 今回の意見交換全般の改善点、感想、意見、要望など

- ・いろんな話をきけて良かったです。
- ・説明をして答えてくれましたが、ちょっと話が難しいなと思いました。
- ・少し難しい内容がありましたが楽しく話せて良かったです。
- ・もうちょっとお話をしたかったです。
- ・補聴器やメガネやスマホや家電などがとても高額で買いにくいことがあるのですが、もっと安く購入するとか、定期的に割引券を配ると良いと思います。
- ・前もって質問をたくさん考えておくのが良かったかなと思った。また、議員から質問がほしかったなと感じました。

Q3. 若い世代の方が市議会に関心を持ってもらうために必要なこと

- ・難しいいろんなことばがありました。
- ・YouTubeに出たいです。そして有名になりたいです。
- ・SNSやTikTok、ニュースで発信してほしいです。
- ・高校生や若い世代は楽しいことが好きなので、イベントをひらくのが良いと感じます。SNSなどを使い、普段の会議のようすや日向の良いところを発信してくれたらなと感じました。

Q4. その他、市議会のことについて聞きたいこと等

- ・子どもから大人まで楽しめる居酒屋がほしいです。
- ・お給料はいくらもらっていますか。
- ・お昼休憩時間は何時から何時までなのか知りたかった。
- ・個人的になりますが、ポケモンのポケふた設置とか、ポケモンGO フェスを日向でも開催してほしいです。そうしたら人がもっと来るし、もっと日向や宮崎県の魅力が伝わると感じます。

Q5. 市議会議員になったら、やってみたいこと

- ・困った人に道案内をすることです。
- ・みんなの役に立つ人になりたいです。
- ・友だちがたくさんできる所にしたいです。
- ・遊ぶところとか自分は自然が好きなので、林業の施設を作りたいです。温泉とコストコとラウンドワンを作りたいです。
- ・世界をもっとよりよくしたいから貧しい人たちを助けたい。
- ・みんなが遠くに行かなくても良いように映画館やショッピングモールなどをつくってあげたいです。
- ・日向の映画館を復活させるように頑張りたい。
- ・みんなの手伝いをしたい。
- ・サンパーク温泉を復活する。
- ・先生たちの残業代を出せるようにしたいです。そうしたらもっと先生になりたい人が出てくると思います。

令和7年度 高校生との意見交換会（※転載禁止）

日向工業高校(R7.11.6)



富島高校:全日制(R7.11.6)



令和7年度高校生との意見交換会（※転載禁止）

富島高校：定時制(R7.11.7)



日向高校(R7.11.18)



令和7年度高校生との意見交換会（※転載禁止）

日向ひまわり支援学校 (R8.1.21)



(出典・引用：令和7年11月12日、宮崎日日新聞記事より)

■高校生 市議会と熱い議論 交通ルール学びたい

日向市議会（日高和広議長、20人）と市内高校生との意見交換会が、同市議会議場で開かれた。魅力的なまちづくりを目指し、熱い議論が交わされた。

2021年度から開いており、5回目の今回は6、7日に実施。初日午前には日向工業高生10人が参加し、班ごとに協議した。ある班はスマートフォンを使いながら自転車に乗る「ながら運転」などの交通違反をした際に反則金納付を通告される交通反則切符（青切符）制度が来春始まることについて話し合った。

生徒は「交通ルールを学ぶ場が必要。通学路の路側帯拡幅や消えている白線を塗り替えて」などと訴え。議員の助言を踏まえ、生徒代表が「学校を通じて県警に講習の要望を出したい。白線塗り替えなどは国道や県道、市道で管理者が異なるため、区長や議員にも要望したい。」とまとめた。

電気科2年の糸平豊和さん（17）は「議員と直接話す機会は多くないので、今後も続けてほしい」と話した。意見交換会は富島、日向高も対象。

(出典・引用：令和7年12月1日、夕刊デイリー記事より)

■高校生と市議が意見交換 若者住みたくなるまちへ

日向市議会（日高和広議長）は市議会議事堂を会場に、市内の高校生と議員との意見交換会を順次開いており、若者が住みたくなる魅力的なまちづくりなどについて、高校生の考えを聞いている。

これからのまちづくりの担い手となる高校生の声を聞き、今後の政策立案や政策提言につなげようと、2021年度から開始。今年度は11月6日に日向工業高と富島高全日制、同7日に富島高校定時制の生徒を招き、同18日には日向高を対象に開いた。

このうち、日向工業高との意見交換会には生徒と議員が9人ずつ参加。2班に別れ、「あなたが描くふるさとの未来は」を主題に、生徒が考えた課題解決策を発表した後、各班の議員と質疑を交わして、内容を深堀りした。

「日向市の自転車利用者の未来」をテーマにした班は、来年4月からの自転車の交通違反に青切符（罰則）が導入されるのを機に、利用者自らがルールを守り安全利用ができる街を目指すことを提言。そのために、自転車教習所の設置などを通じた講習、路側帯の拡張と白線の整備、ヘルメット購入の補助金制度導入などの案を示した。

もう一つの班は「高校生が主役のイベントと新しい図書館に求める機能と在り方」について意見発表。イベントとしては「スポGOMI甲子園」のような競技型の清掃活動、公共施設を借りてのミニオープンスクールなどを提案したほか、新図書館には自由に活動できる空間の設置や、借りた本の管理や在庫検索・予約・スタンプサービスなどができるアプリ開発などを提案した。

参加した河野ひとみ議員は「私たちの気付かないようなたくさんの意見や話を聞けて、とても刺激になった。将来、社会人になる皆さんが日向市の発展のため、たくさん意見を出して、いろんな方に声を発信してもらえたら」。

日向工業高の糸平和豊さん（2年）は「自分たちの声は区長さんや議員さんに届けたらいいことを知ったので、これからの参考にしたい。こうして議員さんと直接話す機会はないので、年1回の意見交換会はぜひ続けてほしい」と希望した。